

令和6年度
国語連盟 読むこと部会

研究授業

「たずねびと」



授業者

大倉山小学校

黒崎 健治 先生

国語 11月26日(火) 5校時

「たずねびと」

～物語の全体像を想像し、考えたことを伝え合おう～

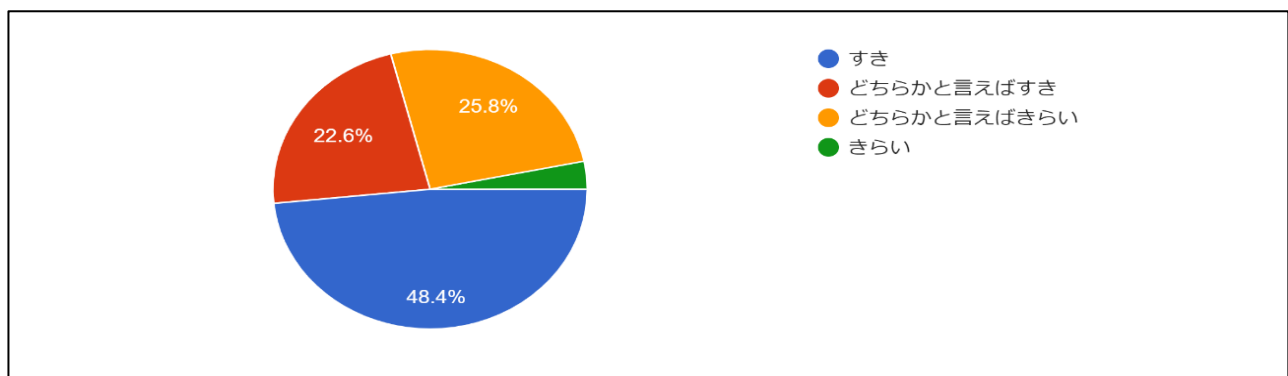
児童：札幌市立大倉山小学校

5年1組 32名

指導者：教諭 黒崎 健治

■児童の実態■

本学級の児童は、課題に対する素直なつぶやきと、それらに対する反応も多い。仲間との語り合いを楽しむ傾向にある。課題に意欲的に取り組み、分かるとどんどん加速していく勢いがある。しかし、困難な課題に直面すると、諦めがちな一面もある。本単元では、「この物語のイメージはプラス・マイナス？」という問いで単元を貫く。自分事として物語に関わり、仲間との対話の中で粘り強く課題と向き合う中で、変容を実感できる。また、一人一人が自分ならではの考えを形成していくことができると考えた。ここで、「物語の学習は好きか」という質問をしたところ、下記のような結果となった。



学習に前向きの児童は7割程度であった。その理由として

- ・物語を知ると「ああ、こういう物語もあるんだな～」と思うからです。
- ・いろいろな発想が言えるから ・物語を読むことで想像力を豊かにすることができるから。
- ・面白いから ・考えてみんなと話せるから ・人の考えを見るのが好きだからです！
- ・「先が見えない。」というワクワク感があるからです。また、自分が考えていたことと全く違うことがあるので好きです。 ・なんか自分もこういう作品を作ってみたいと思ったりするから。

というものが挙げられていた。そもそも物語にふれるのが好きな子が多く、物語についての対話による学びの楽しさを感じられる子も一定数いる。ただ、音読したり、一人で物語を読んだりする楽しさにとどまっている子もいる。

一方、後ろ向きの児童は3割程度であった。その理由として

- ・読み取るのが苦手だから。 ・物語がそもそも好きじゃない。 ・物語を読んで思ったことを書くのが苦手だからです。 ・読むのは好きだけど、それ以外はあまり好きじゃないから。
- ・物語が嫌い。 ・感情的な部分が自分にはなくて文章は、好きでも絵が嫌い、文章にあってなかったりすると嫌な気持ちになるから。

というものが挙げられていた。そもそも文章に苦手意識があり、彼らにとって個人で読むことは負担感が大きいのではないかと考えられる。事実、進んで読書に向かう子とそうでない子の温度差は大きい。また、はっきりとした正解を求める子も一定数いる。

この結果からも、問いを共有し、個別・協働・全体を行き来しながら、調べたり、対話を重ねたりする活動が適している。また、最後に読み深めてきたことで形成した考えについて語り合える場を設け、子どもがテーマを設定して話すことで、学びの主体となる子どもの姿が見られるはずである。

■実践課題①「児童自らが学びの主体となるための『問い』に関わって■

I. 自ら問題発見・課題設定していくための問いを生む工夫

- ・物語のイメージがプラスかマイナスか立場を明確にしてから読み進めること
- ・綾の変容のきっかけを考え、立場を決めて読み進めること
- ・綾の変容は点ではなく線で繋がっているということに気付けるような発問を返していくこと

II. 他者の言葉・テキストから問いを生むための工夫

- ・全文シートを活用し、他者とのズレや根拠となる叙述が見えるようにすること
- ・Padlet を活用し、自己の変容と他者の変容を時系列で可視化すること
- ・個別⇔協働や、同じ立場⇔違う立場を、必要感に応じて往還できるようにすること

III. 自らの表現に対する問い（反省的＝reflective な問い）を生むための工夫

- ・毎時間、談議（自分の立場や考えを明確にした対話による交流）を行うこと
- ・自己のイメージの変容が見えるように、全文シートに貼る付箋の色を変えること

■実践課題②「創造性の発揮に寄与する『学びのつながり』に関わって■

I. 資質・能力ベースで捉えた単元・授業の構成の工夫

- ・全文シートを活用し、プラス・マイナスの根拠を叙述に立ち返られるようにすること
- ・身に付けた知識・技能を使って思考する必要がある課題を設定すること
- ・身に付いた力を発揮することのできる言語活動を設定すること

II. 身に付いた力の自覚を促す、評価の在り方の工夫

- ・ゴールを明確にしてから、逆向き設計で単元を計画すること
- ・どこで、何を、どのように評価するかを、子どもの学びの姿から具体的にすること

■単元目標■

- ・ 比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができる。 【知識・技能】
- ・ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。 【思考・判断・表現】
- ・ 粘り強く物語の全体像を具体的に想像し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】

■単元計画■（6時間構成）

時	子どもの学習活動と思考の流れ				
0	<p>○世界情勢のニュースから戦争についてイメージをもつ</p> <p>世界では戦争や紛争が続いている国があるのは信じられない。</p> <p>戦争は怖い、なくなさなきゃいけないのになくならない。</p> <p>○3年時に学習した「ちいちゃんのかげおくり」をプラス・マイナスのどちらで捉えるか交流する</p> <p>結末の雰囲気から、プラスと捉えられるよ。</p> <p>戦争の怖さや悲しさが伝わるお話だったからマイナスかな。</p>  <p>○ちいちゃんにとってこの話はプラスかマイナスか考え、交流する</p> <p>天国で家族みんなといられたからプラスなのでは。</p> <p>家族と会えたのも亡くなった後だから、マイナスだと思う。</p>				
1	<p>○題名からどんな物語なのか想像する</p> <p>誰かをたずねていくお話なのかな。「たずねびと」という言葉がまだよく分からない。</p>   <p>作者は5年生の教科書用にこの作品を書き下ろしたみたいだ。</p> <p>戦争の話なのか。きっとマイナスイメージだろうな。</p> <p>○教師の範読を聞く</p> <p>○作品に抱いたイメージはプラスかマイナスか立場をはっきりさせる</p> <p style="text-align: center;">「たずねびと」のイメージはプラス？ マイナス？</p> <p>○初読の感想を書く</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="color: red;">プラス</th> <th style="color: blue;">マイナス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>前向きな気持ちで終わっているから。</p> <p>主人公の綾がちょっと成長した感じがするから。</p> </td> <td> <p>戦争の怖さをたくさん描いているから。</p> <p>結局楠木アヤは見つからなかったから。</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 2px solid black; padding: 5px;">同じお話なのにイメージが違うんだ！ どうしてか聞いてみたい！</p> <p>○【談議】 同じ・違うイメージをもった人の話を聞いてみる</p> <p>目の付け所や捉え方が違った。</p> <p>綾の姿がイメージに影響している。</p>	プラス	マイナス	<p>前向きな気持ちで終わっているから。</p> <p>主人公の綾がちょっと成長した感じがするから。</p>	<p>戦争の怖さをたくさん描いているから。</p> <p>結局楠木アヤは見つからなかったから。</p>
プラス	マイナス				
<p>前向きな気持ちで終わっているから。</p> <p>主人公の綾がちょっと成長した感じがするから。</p>	<p>戦争の怖さをたくさん描いているから。</p> <p>結局楠木アヤは見つからなかったから。</p>				

問いを生む教師の手立て

戦争そのものや、既習の題材について、イメージがプラスかマイナスか考える機会を設けることで、捉え方は、視点によって変わるということを経験できるようにする。また、「たずねびと」の読後感が少し違うことに気づき、深く読んでいきたいという思いをもてるようにする。①

—II

この時点でのプラス・マイナスの判断基準は示さない。そうすることで、戦争に対するイメージや、綾にとってどうかという視点が混在するだろう。そのズレが、仲間と読み進めることの必要感を生む。①—II

2

- 音読、場面分け、物語の設定、言葉の意味を確かめる
- 同じ11歳の綾にとって、この話がプラスかマイナスか考える

11歳の綾にとってこの話はプラス？マイナス？

プラス

お話を通して
心の成長が見
えるから。

広島へ行ったことや
おばあさんとの出会
いはよかったから。

マイナス

落ち込んだり、ショッ
クを受けたりした時も
あったから。

- 【談議】 同じ・違うイメージをもった人と交流

綾は成長している感じがする。

綾の気持ちにはプラスもマイナスもある？

綾の変化はプラス。綾が変わったきっかけはどこかな。

3

11歳の綾は何がきっかけで変わったのかな？

ポスター（原爆供養塔納骨名簿）

楠木アヤ

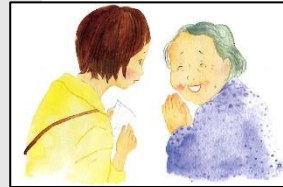
夢

母

兄

広島で見たもの

おばあさん



- 綾が変わったきっかけだと思うところを選択し、その理由について叙述を基に考える

「不思議」という言葉が何
度も出てきたり、原爆供養
塔納骨名簿に吸い込まれそ
うな挿絵があったりするか
ら、ポスターがきっかけ。

夢があったから不
思議に思っていた
気持ちを止められ
なくなっている感
じがする。

おばあさんと出会
ったことで、これ
まで出会ってきた
人やものがつな
がった感じ。

- 【談議】 同じ立場の人と「どの叙述から」「何を」考えたのか交流

同じところに目を付けていた！考え
に自信がもてた！

同じ文だけど、考えたことがちよ
っと違った。

変化のきっかけは〇〇（自分の選んだところ）だと思う！
もっとはっきりとした根拠を探したい。

学級の意見の偏り具
合によって問い返し
の発問を変える。どの
場合であっても、「初
めと終わりの綾は違
う」ということを全員
が確実に捉えられる
ようにする。①-Ⅱ

綾の変化は「プラス」
と捉えたところで、ど
こからそう感じたの
か問う。ここで8場面
の優れた表現に着目
し、共有することで
「表現の効果に着目
する」という見方のよ
さに気付けるように
する。②-Ⅰ

自分の考えにネーム
カードを貼って、立
場を明確にする。

①-Ⅱ

「どの叙述から」だ
けでなく、そこから
「なぜ」そう考えた
かを問うていく。表
現に着目した子ど
もを価値付けなが
ら、何に注目してい
けばよさそうか気
付けるようにする。

②-Ⅰ

11歳の綾は何がきっかけで変わったのかな？

○個別・協働しながら、綾の変化のきっかけを視点に読み深める

ポスター（原爆供養塔納骨名簿）

・「目に飛びこんできた」から相当な印象を受けたのが分かる。

夢

・紙があごをかすった感触が残るくらいリアルな夢で、相当気になっているからポスターを見に行こうと「決めた」んだ。
・忘れていたのに夢に見るくらい心に残っていたんだと思う。

広島で出会ったもの

・「名前」は、「頭」→「顔」→「おもかげ」と、事実を知ったからこそ見え方が変わった
・「頭がくらくらした」「うちのめされる」くらい衝撃が大きく、理解が追いつかない
・「気が遠くなりそう」なのに「目がはなせない」んだから、受け止めようとしている。

楠木アヤ

・「だれかがわたしをさがしてるの。」と、同姓同名だからこそ強く惹きつけられたのでは。

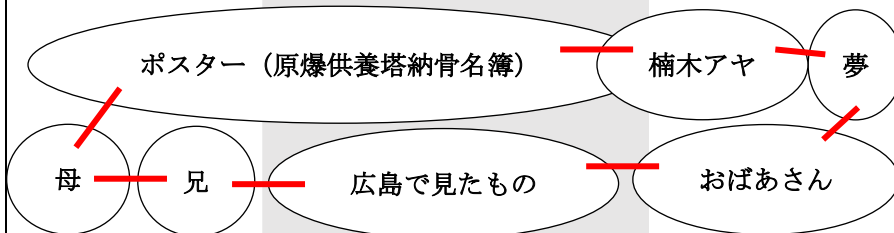
兄・母

・綾が広島に行くという選択肢もてたのは母の提案のおかげ。
・しどろもどろになる綾を支え、導いてくれる兄の存在のおかげで前に進めた。

おばあさん

・がっかりではなく「泣き笑いみたいな表情」で願いを話してくれたのが綾にとって大きい。
・おばあさんの言葉には、綾の考えたこともないようなことがあったからきっかけになった。

綾の変化につながる「優れた表現」に着目しながら



どれも必要なきっかけだ。全てつながっている！

綾とアヤを、全てのものが時代を超えてつないでくれている。

徐々に変容して、おばあさんが最後の決め手になっている感じ。

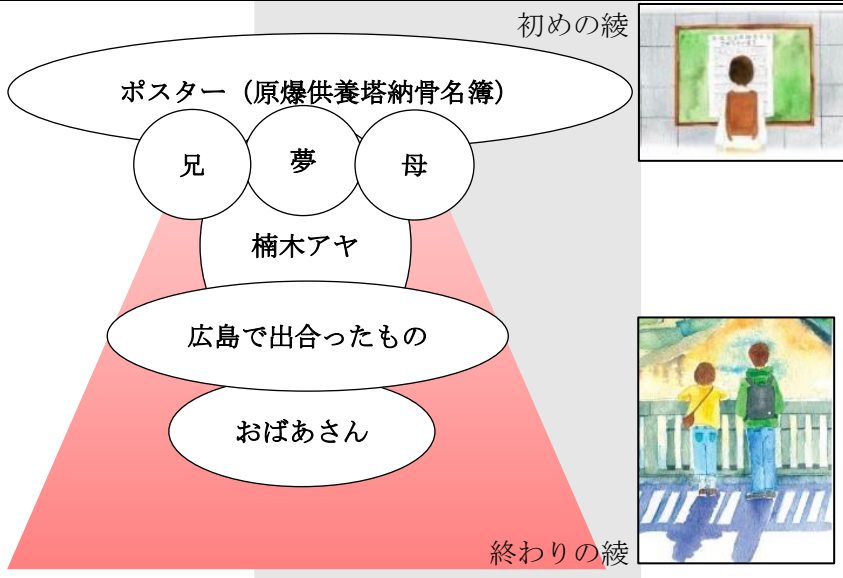
綾の変化は様々なタイミングで表れているね。

どれが欠けても最後の綾にはならないんじゃないかな。

全文シートを活用する際、初めの自分の考えは青、新たな解釈や仲間の考えは赤、というように、付箋の色を変えることで、考えの形成の足跡が残るようにする。①-Ⅲ

個別・協働を行き来したり、他の立場の人と自由に交流したりできるように活動時間や場を適切に設定する。①-Ⅲ

「違う立場の人との交流によって見えてきたものは何？」と問い、全体で交流していくことで、変容のきっかけは線につながっているということに気付けるようにする。①-Ⅱ



ただ「どれもつながっている」で終わらず、「どんなつながりが見える？」と問うことで、それぞれの要素が物語の中で、綾にとってどのように作用しているのか考えられるようにする。①-Ⅱ

○【談議】 違う立場の人と「どの叙述から」「何を」考えたのか交流

6 「たずねびと」のイメージはプラス？マイナス？

○【談議】 物語のイメージや自己の変容について交流

プラスもマイナスもある。戦争自体はマイナスだけど、綾の変化はプラスと捉えられる。マイナスな出来事を知って、これからの未来をプラスの気持ちで生きような話だったと思う。

完全にプラス。マイナスはない。綾にとっても、アヤにとっても、おばあさんにとっても、つながりを感じられる前向きな作品。戦争のない平和な世の中をつくっていくのは、今を生きる私たちだ。

○学習を通して自己の変容を振り返る


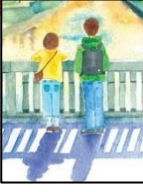
最後の談議は、プラス・マイナスのイメージに立ち返り、感じたことを伝え合う活動をする。これまでの読みの深まりや獲得した読み方を發揮して、自己の変容を実感しながら伝え合いを楽しむ姿をねらう。①-Ⅱ

■本時の学習■

1. 本時の目標

綾の変化のきっかけについて談議することを通して、全ての出来事や人物との出会いが繋がっていることに気づき、自分の考えを広げることができる【思考・判断・表現】

2. 本時の展開 (5/6)

子どもの学習活動と思考の流れ		問いを生む教師の関わり
<p>【前時まで】</p> <ul style="list-style-type: none"> 綾の変化のきっかけを視点として設定し、一人一人選択し、探究している きっかけ同士のつながりがありそうだという見通しをもち始めている <p>○前時までの探究について報告し合う</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>1 1歳の綾は何がきっかけで変わったのかな？</p> </div> <p>○個別・協働しながら綾の変化のきっかけを視点に読み深める</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">ポスター (原爆供養塔納骨名簿)</p> <p>・「目に飛びこんできた」から相当な印象を受けたのが分かる。</p> </div> <p style="text-align: right;">初めの綾 </p>		<p>個別・協働を行き来したり、他の立場の人と自由に交流したりできるように活動時間や場を適切に設定する。①-Ⅲ</p>
<p style="text-align: center;">楠木アヤ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「だれかがわたしをさがしてるの。」と、同姓同名だからこそ強く惹きつけられたでは。 		<p>「違う立場の人との交流によって見えてきたものは何？」と問い、全体で交流することで、変容のきっかけは線につながっているということに気付けるようにする。①-Ⅱ</p>
<p style="text-align: center;">夢</p> <ul style="list-style-type: none"> 紙があごをかすった感触が残るくらいリアルな夢で、相当気になっているからポスターを見に行こうと「決めた」んだ。 忘れていたのに夢に見るくらい心に残っ 	<p style="text-align: center;">兄・母</p> <ul style="list-style-type: none"> 綾が広島に行くという選択肢をもてたのは母の提案のおかげ。 しどろもどろになる綾を支え、導いてくれる兄の存在のおかげで前に進めた。 	
<p style="text-align: center;">広島で出合ったもの</p> <ul style="list-style-type: none"> 「名前」は、「頭」→「顔」→「おかげ」と、事実を知ったからこそ見え方が変わった 「頭がくらくらした」「うちのめされる」くらい衝撃が大きく、理解が追いつかない 「気が遠くなりそう」なのに「目がはなせない」んだから、受け止めようとしている。 		
<p style="text-align: center;">おばあさん</p> <ul style="list-style-type: none"> がっかりではなく「泣き笑いみたいな表情」で願いを話してくれたのが綾にとって大きい。 おばあさんの言葉には、綾の考えたこともないようなことがあったからきっかけになった。 <p style="text-align: right;">終わりの綾 </p> <p>○きっかけのつながりについて全体で交流する</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">綾とアヤを、全てのものが時代を超えてつないでくれている。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">徐々に変容して、おばあさんが最後の決め手になっている感じ。</div> </div> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>どれも必要で、全てつながっている！どれも欠けても最後の姿にはならない！</p> </div> <p>○【談議】違う立場の人と「どの叙述から」「何を」考えたのか交流</p> <p>○Padlet に振り返りを記入する</p>		<p>「どんなつながりが見える？」と問うことで、それぞれの要素が物語の中で、綾にとってどのように作用しているのか考えられるようにする。①-Ⅱ</p>

綾の変化につながる「優れた表現」に着目しながら読んでいくよう関わる

物語の全体像を捉え、考えたことを伝え合おう『たずねびと』(6時間) 指導と評価の計画

単元の目標	知識及び技能	比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができるようにする【知(1)ク】			
	思考力、判断力、表現力等	人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるようにする【思C(1)エ】			
	学びに向かう力、人間性等	粘り強く物語の全体像を具体的に想像し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合うことができるようにする			
評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	①比喩や反復などの表現の工夫に気付いている	①人物像や物語の全体像を具体的に想像している ②表現の効果を考えている	①粘り強く本文の全体像を具体的に想像している ②学習の見通しをもち、調整しながら探究に取り組んでいる ③考えたことを伝え合おうとしている		
構成	第1次 概要を掴む 学習の見通しをもつ 【構造と内容の把握】		第2次 中心人物の変容の概要を捉える【精査・解釈】	第3次 中心人物の変容のきっかけを視点に読み深め、全体像を具体的に捉える【考えの形成】	第4次 互いの考えを交流する【共有】
	1	2	3	4・5	6
学習内容	・ 範読を聞く ・ 既読の戦争文学と比較 ・ 初読の感想 この物語のイメージはプラス？マイナス？	・ 音読 ・ 場面分け ・ 設定整理 ・ 意味調べ ・ 戦争についての理解 11歳の綾にとってはプラス？マイナス？	・ 綾の変容の概要を捉える ・ 優れた表現による効果を確認する 綾の変化のきっかけはどこ？	・ 綾の変容のきっかけを視点に個別・協働で読み深める 綾の変化のきっかけはどこ？ それぞれのきっかけにはどんなつながりが見える？	・ 交流 この物語のイメージはプラス？マイナス？
			知① 発言 記述		
評価と方法		思① 発言 記述		思①② 発言 記述	思① 発言 記述
	主① 感想の記述			主②③ 探究の姿 交流の姿	主③ 交流の姿
評価基準B	・ 既読の戦争文学と比較しながら、「たずねびと」の読後感を基に、感想を書くことができる	・ 綾の変容に気付いている ・ 物語の全体像を捉える必要性を理解している	・ 叙述を基に中心人物の変容を捉えることができる ・ 優れた表現の効果に気付いている	・ 自分なりの視点をもって、叙述を基に物語の全体像を具体的に捉えることができる ・ 友達の考えと比較し、着目した言葉や結び付けた叙述の共通や相違を確かめている	・ 自己の考えの変容を実感している ・ 読み深めて学んだことや自身の経験を基に、設定したテーマについて話している

本単元の指導目標

◎思 C (1) エ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする

○知 (1) ク 比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと

- ・比喩…あるものを別のものに例えて表現する（直喩・隠喩）
- ・反復…同一または類似した表現を繰り返す（連続、間を置く）

本教材「たずねびとー朽木祥」で、指導目標に迫るための★

★人物像→登場人物の行動や会話、様子などを表している複数の叙述を結び付け、それらをもとに性格や考え方などを総合して判断する

※イ 登場人物の相互関係や心情など（登場人物の性格や情景）について、描写（物事の様子や場面、行動や心情などを、読み手が想像できるように描いたもの）をもとに捉えること→5・6年生は描写に着目。直接的、暗示的な表現の仕方に注意し、想像を豊かにしながら読む

- ・中心人物＝綾 心内語・会話・行動から…等身大の5年生 不思議に思ったことをじっくり考える 自分から行動に移すことはあまりない
- ・お兄ちゃん 会話・行動から…綾を支えてくれる 気に掛けてくれる
- ・お母さん 会話から…綾に寄り添う 綾の行動を後押し
- ・おばあさん 会話・表情から…たずねびとを待っている

★全体像→登場人物や場面設定、個々の叙述などを基に、その世界や人物像を豊かにすることで捉えられる。内容面（何が書かれているか）だけでなく、表現面（どのように描かれているか）にも着目して読むことが、全体像を具体的にイメージすることにつながる

- ・全体像を具体的に捉えるとは？…not あらすじ。物語の要点。物語から伝わるメッセージ。
- ・全体像を捉えることで、日常の読書にどのような影響を与えるのか？…物語からメッセージを捉えたり、面白さや奥深さに気付けるようになったりする
- ・全体像を捉えるためには、どこに気を付けて読むのか？…人物、場面、叙述、表現の「つながり」を意識して読む
- ・全体像を捉える必要がある言語活動とは？…読みの視点を働かせた探究活動、探究したことをもとに伝え合うことで作品の理解が深まる話し合い活動

山元隆春（2009） 文学の読みにおける3段階の〈モード〉

- ①情報駆動の読み：読者の主たるゴールがテキストから学んだり、情報を引き出したりすることにある読み
- ②物語内容駆動の読み：テキストの叙述の細部に余計な注意を払わず、物語の出来事、登場人物、設定に没入する読み
- ③要点駆動の読み：その物語や文章が「語りうるもの」となるためのプラン（要点）を抱いていると想定しながら読む読み

ここでは、③を目指す→読みの視点をもち、叙述を頼りに、書き手と交渉するように読み、様々な「つながり」から作品の面白さを見出す

★表現の効果を考える…想像した人物像や全体像と関わらせながら、様々な表現が読み手に与える効果について自分の考えを明らかにしていくこと

→①感動やユーモアなどを生み出す優れた叙述、②暗示性の高い表現、③メッセージや題材を強く意識させる表現 などに着目しながら読むことが重要

★「たずねびと」における優れた表現とその効果

①・心内語（－）…綾の自己対話を覗き見ることを通して、読み手が当事者視点で物語を読み進められるだけでなく、綾の変容を具体的に捉えやすい

・反復 「名前」…強烈な印象 「何十年も前」…綾の考えも想像も及ばない遠い話 「不思議」…綾の関心 率直な気持ち

・比喻 「まるで羽虫のように」…綾にとってそれらの名前は意味をもたない文字

・「頭がぐらくら」…原爆の被害が綾の想像をはるかに越えていて追いつかない

・「ずらっとならんだ頭、頭、頭。」…具体的に数を想像している→日常との対比により、亡くなった人の数の多さを実感しているが、一人一人の存在にはまだ目が向いていない

・「うちのめされるような気持ち～」思考が及ばない、大きなショックや悲しみで複雑に重たい感情？

・「とぎれなく～気が遠くなりそうだった。」…過去と現実がつながり、綾に押し寄せる

・「わたしは知らない人に～しどろもどろになる。」…綾の性格が見える 5年生っぽい→他の言葉に置き換えてみると、表現の効果が際立つ？

・「ポスターの名前が、ただの名前でしかなかったように。」…文字、数だけに目が向いていた昼まで、広島での展示物や風景、おばあさんとの出会いを通してもうそう捉えられなくなってしまった綾

②・「はっとして手をのばしたが、とどく寸前で目が覚めた」…この先の展開を暗示している？

・「秋の空は高く青く～晴れ晴れとした景色だった。」…綾の期待感 当時の悲惨な様子は綾には到底想像もつかない現状

・「秋の日は短くて～赤く光る水」…感傷的 物思いにふける 心を整理する綾

・「きれいな川はきれいな川でしかなかった」…にぎやかな町、きれいな川でも、歴史が重なり、一人一人のくらしが重なり、戦争と原爆の風景が重なり、綾の見方が大きく変容した象徴

③・「にぎやかな通り～原爆ドームがあった。」…過去と現在の対比

・「生真面目な顔～かしまって写っている。」…綾にとって数でしかなかった犠牲者を、個性をもった一人一人の人間（子どもたち）として受け止め始めている

★全体像→考えの形成へ

①心情、情景などの描写から、どんな印象を受けたか ②中心となる人物が会う人やもの、経験が、物語においてどのような役割をもっていると考えたかという観点で、叙述を基に自分の考えを形成し、談議での交流に厚みをもたせていく

★中心人物「綾」の変容 ※点でがらりと変容するのではなく、線でゆるやかに変容していく

中心人物 = 「綾」「楠木綾」「わたし」

出会った人やもの

戦争のことをよく知らない 他人事

「すごく不思議」「目に跳びこんできた」「びっくり」
「何十年も前のことなのに」「本当に不思議」

「どうして何十年もだれも探しに来ないのかな」

「たった一つの爆弾で～」「校庭の頭の数の二百倍だ」

「気が遠くなりそう」「どうしても目がはなせなかった」

「はずかしくなって～」「～そんなことは考えたこともなかった」

「夢で見失った名前にも、いくつもいくつもおもかげが重なって、わたしの心にうかび上がってきた」

戦争のことを忘れてはならない 自分事

いつもの駅

『原爆供養塔納骨名簿』 さがしています 楠木アヤ（11さい）
ただの名前
→夢（名前がひょいひょいと飛んで、たちまち消えてしまう）

広島

慰霊碑 お参り
平和記念資料館 陳列ケースに並べられたものたち

追悼平和祈念館 モニターに映る顔

原爆供養塔 おばあさん「楠木アヤちゃんの夢やら希望やらが～」
「～ずっとわすれんでおってね」

全ての要素がつながり
綾を徐々に変容させていく

主体的な学び

自分の考えを「自分の言葉」で語っていることに示される？

→必要な基盤として…①五感が豊富に刺激されるような体験・②生活での経験の掘り起こし・③他者に語りたい活動

国語科における基礎知識

言葉による見方・考え方を働かせる…対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に注目して捉えたり、問い直したりして、言葉への自覚を高めることであると考えられる

○知識及び技能

(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項…ア言葉の働き、イ話し言葉と書き言葉、エ漢字、オ語彙、カ文や文章、キ言葉遣い、ク表現の技法、ケ音読・朗読

(2) 情報の扱い方に関する事項…ア情報と情報の関係、イ情報の整理

(3) 我が国の言語文化に関する事項…アイ伝統的な言語文化、ウ言葉の由来や変化、エ書写、オ読書

○思考力、判断力、表現力等

A 話すこと・聞くこと

- ・話すこと…ア話題の設定、情報の収集、内容の検討、イ構成の検討、考えの形成、ウ表現、共有
- ・聞くこと…ア話題の設定、情報の収集、エ構造と内容の把握、精査・解釈、考えの形成、共有
- ・話し合うこと…ア話題の設定、情報の収集、内容の検討、オ話合いの進め方の検討、考えの形成、共有

B 書くこと

- ・書くこと…ア題材の設定、情報の収集、内容の検討、イ構成の検討、ウエ考えの形成、記述、オ推敲、カ共有

C 読むこと

- ・読むこと…ア構造と内容の把握（説明的な文章）、イ構造と内容の把握（文学的な文章）＝登場人物の相互関係や心情などを捉える、ウ精査・解釈（説明的な文章）、エ精査・解釈（文学的な文章）＝人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする、オ考えの形成、カ共有